

平成19年度 教育研究業績書

氏名 湯川 隆子

最終学歴	1974年3月京都大学大学院教育学研究科博士課程(教育方法学専攻)単位取得満期退学			
取得学位	教育学修士			
所属学会	日本心理学会、日本教育心理学会、日本発達心理学会、日本社会心理学会、日本家族心理学会、日本グループダイナミクス学会、SRCD(The society for Reaserch of Child Development)、ISSBD(The International Society for the Study of Behavioural Development)			
現在の専門分野	発達心理学 ・ 社会心理学			
研究課題	ジェンダーの視点から見た生涯発達心理学			
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(学術論文) 大学生のジェンダー特性語認知の経年変化 テキスト・マイニングによる連想反応の 探索的分析から	共	2008年 3月	奈良大学紀要 36巻, 131-150.	ジェンダー認知に対する青年の連想反応語における約20年を隔てた経年変化を、テキスト・マイニングの分析手法を用いて検討したものの(清水裕土・廣岡秀一との共同執筆、第1著者)
(学会発表) 1ジェンダー次元での連想反応語からみた年代比較 1970年代から1990年代への推移 (ポスター発表)	共同発表	2007年 9月	日本社会心理学会48回大会(早稲田大学)	青年を対象に得られた連想反応語におけるジェンダー認知の約20年を隔てた経年変化を、テキスト・マイニングの分析手法を用いて分析した一連の研究の第一報告(清水裕土・廣岡秀一との共同発表第1発表者), Pp. 804-805
2中・高齢者のジェンダー特性とサクセスフル・エイジング (ポスター発表)	共同発表	2007年 9月	日本心理学会第71回大会(東洋大学)	高齢者の両性具有的なジェンダー特性とサクセスフル・エイジングとの関連性を面接によって事例的に検討したものの第2報告(石田勢津子との共同発表第1発表者)発表論文集Pp. 1266